

(案)

令和 5 年 1 1 月〇日

苫小牧市長 岩倉 博文 様

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会  
会 長 平 野 博 人

苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止及び新条例の制定について  
(答申)

令和 5 年 7 月 4 日付け苫ゼ第 9 0 号により諮問のあったこのことについて、  
当審議会において審議を行った結果、妥当なものであると認めますので、この  
旨報告します。

なお、答申に際し別紙のとおり意見を申し添えます。

苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の新条例  
制定に向けた提言（案）

令和 5 年 月 日

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

## 苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の新条例制定に当たって

苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧（**JFE** リサイクルプラザ苫小牧）は、平成11年4月に開設し、現代社会における非常に重要なテーマの一つであった資源循環型社会の形成を目指し、「053（ゼロごみ）のまち とまこまい」として廃棄物の再利用や再生利用、減量への理解を深めるため様々な事業や取組を実施してきました。その結果、近年では道内主要10市の中でもリサイクル率がトップとなるなど、市民のごみの減量や再生、再利用の意識啓発にも大きな役割を果たしてきました。

一方で、開設から24年を迎え、**SDGs** の達成やゼロカーボン社会の実現など環境に関する社会課題も広がりを見せています。

苫小牧市は道内最大の工業都市として、また、雄大な自然を有する人間環境都市として、様々な強みを持ち合わせており、この課題に対し挑戦できる可能性を秘めている都市でもあります。

そうした認識のもと、今後は施設を有効活用し、環境課題への対応拠点として、新たな取組を推進していくことが重要になっていくのではないかと考えます。

当審議会としては、本提言を参考に、苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧が更なる活気あふれる施設として活用される一助となることを期待しています。

令和5年 月 日

苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

会長 平野 博人

苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止及び新条例制定の答申に当たり、新条例に基づく施設運営について以下のとおり提言します。

## 1 施設の設置目的

現在の施設は、廃棄物の再利用及び再生利用並びに減量について、市民の意識の啓発を図るとともに、市民による自主的活動の支援等を行い、資源循環型社会の形成に資することを目的に設置されています。そのため、講座等の事業内容においても施設利用が限定的な範囲となっています。

新条例においては、脱炭素社会等の実現に向けた持続可能な地域社会を形成するため、従来の設置目的に加え、環境問題や SDGs などの時代変化に応じた課題に対して、施設を利活用することを目指すべきと考えます。

## 2 施設の機能

設置目的を達成するためには、以下の機能が必要であると考えます。

- (1) 環境情報等を様々な手法を用いて発信できる機能
- (2) 子どもから大人まで幅広い年代が体験などを通じて、環境問題等を身近に感じ、意識できる機能
- (3) より多くの幅広い市民が気軽に集い、交流拠点となるような機能

## 3 施設の事業

施設が地域の交流拠点として、持続可能な地域社会の形成に寄与していくためには、施設の機能を最大限に生かして、魅力ある事業を展開していくことが必要となります。今後は、環境のテーマを軸に、より幅広い市民が体験等を通して、学びを深め、情報を受け取ることができる施設づくりに向けて、以下の事業が必要であると考えます。

- (1) 自然環境や脱炭素社会、SDGs などの幅広い環境テーマに対し、市民が楽しみながら、体験等を通じ、自ら考え行動することができる教育機会の提供

- (2) 環境問題等に関心や理解を深めることができる講座や講演会の開催
- (3) 施設の特徴を活かし、引き続きごみの減量やリサイクルの推進について発信できる事業

#### 4 運営手法や料金制度

平成 11 年 4 月の施設設置当初から当該施設は市直営での施設運営を行い、資源循環型社会の形成に資するための取組を実施してきましたが、今後は持続可能な地域社会の形成に向けて、多様な視点から市民ニーズの把握に努めるとともに、施設の設置目的や事業、機能を見直すべきであると考えます。

また、環境問題等を含む、より幅広いテーマに取り組むことができる新条例が制定された場合には、新たな事業展開への期待が高まります。

そのため、更なる市民サービスの向上を目指し、民間事業者のノウハウや創意工夫による施設づくりに向けて、指定管理者制度を導入することについても検討すべきと考えます。

ただし、施設の魅力に応じた利用料金の設定が必要であると同時に、例えば、小中学校の授業のおける利用については減免をするなど、環境教育の推進に向けた配慮についても検討が必要であると考えます。

さらには、現在の施設名称については、新たな条例における施設設置目的と異なることから、施設名称についても新たに検討が必要であると考えます。

第15次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会

区 分	氏 名	所属等
学識経験者	平野 博人（会長）	苫小牧工業高等専門学校
学識経験者	佐々木 彩（副会長）	苫小牧工業高等専門学校
学識経験者	中嶋 清人	苫小牧市立樽前小学校
学識経験者	細部 善友	苫小牧市立開成中学校
団体推薦	阿部 勲	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会
団体推薦	榎本 郁子	苫小牧市町内会連合会
団体推薦	遠藤 和盛	苫小牧商工会議所
団体推薦	今野 雄一	生活協同組合コープさっぽろ
団体推薦	佐藤 咲子	苫小牧資源リサイクル協同組合
団体推薦	佐藤 たばさ	特定非営利活動法人エクスプローラー北海道
団体推薦	重本 清	苫小牧市老人クラブ連合会
団体推薦	清水 祐一	苫小牧消費者協会
団体推薦	壽崎 琴音	苫小牧市東開文化交流サロン
団体推薦	松崎 愛	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
団体推薦	向井 友一	一般社団法人苫小牧青年会議所
団体推薦	山本 紘之	（公社）北海道産業資源循環協会日胆支部
公募	緒方 共	
公募	川上 啓子	

これまでの検討の経過

年月日	内容
令和5年3月24日（金）	第4回第14次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 ・苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧の機能拡充について
令和5年7月4日（火）	第1回第15次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 諮問 ・苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止及び新条例の制定についての諮問 議題 ・苫小牧市リサイクルプラザ苫小牧条例の廃止及び新条例の制定の背景について ・近隣施設について ・他市施設について
令和5年8月8日（火）	第2回第15次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 報告 ・沼ノ端クリーンセンターにおける脱炭素の取組みについて 議題 ・新たな条例及び施設イメージについて ・諮問に至った市の考え方について ・施設活用の可能性について
令和5年9月13日（水）	第3回第15次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 議題 ・今後のスケジュールについて ・これまでの委員意見についてのまとめ ・施設イメージ案について
令和5年11月1日（水）	第4回第15次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 議題 ・答申案の内容確認
令和5年11月〇日（）	答申 ・市長への答申書の提出